



電動手術台 取扱説明書

MUT-300

動物用

目次

第 1 章	
1. 使用上の注意事項	2
1-1 はじめに	2
1-2 絵表示について	2
1-3 安全に使用するための注意	3
第 2 章	
2. 構 成	6
2-1 各部の名称	6
第 3 章	
3. 操作方法	10
3-1 手術台の固定	10
3-2 電源の入れかた／切りかた	11
3-3 フットスイッチによるポジション	12
3-4 補助板	15
3-5 保定レール金具	16
第 4 章	
4. 保守と点検	18
4-1 清浄・消毒	18
4-2 修理を依頼される前に	18
4-3 保証について	19
第 5 章	
5. 仕 様	22
5-1 仕様表	22
5-2 外観図	23

△ ご使用の前に取扱説明書をお読みください。

使用上の注意事項

1-1 はじめに	2
1-2 絵表示について	2
1-3 安全に使用するための注意	3

1. 使用上の注意事項

1-1 はじめに

- この取扱説明書は手術台を安全に正しくご使用いただくためのものです。
この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で実際にご使用いただきますようお願いいたします。
なお、製品または取扱説明書の内容についてご質問等がございましたら、ご購入店または弊社にご遠慮なくお問い合わせください。
- 取扱説明書を紛失または損傷した場合は、ご購入店または弊社にお問い合わせください。
- 手術台を譲渡されるときは、次の所有者に、必ず取扱説明書を添付し譲渡してください。

1-2 絵表示について

この取扱説明書の表示では、手術台を安全に正しくご使用いただき、お客様や患畜への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は以下のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人または患畜が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人または患畜が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

補 足

この表示は、製品の機能について、補足事項を示しています。

1-3 安全に使用するための注意

警告

使用中の取扱い

- 主板▼部に座らないでください。転倒・損傷・怪我のおそれがあります。(P.12参照)
- 作動時は必ず支持器、ベルト、ロープ等で患畜を固定してください。患畜が転落するおそれがあります。
- 主板と昇降体の間に手を入れないでください。怪我をするおそれがあります。
- フレームの間に手を入れないでください。怪我をするおそれがあります。
- 補助板屈折の操作は、必ず先端を持ってください。ゆるんだ衝撃で怪我をするおそれがあります。
- 取り外した補助板を取り付けるときは、必ず補助板固定ハンドルを締めてください。ゆるんだ状態で使用すると、補助板が外れて落下するおそれがあります。
- 補助板の上には座らないでください。転倒・損傷・怪我のおそれがあります。

注意

- 使用前に必ず手術台を固定してください。
- ブレーキハンドルの操作は、ブレーキが床に接地したら止めてください。接地後も操作を続けると、コラムが浮き上がり不安定な状態になります。
- 他社製のアクセサリを使用する場合は、必ず手術台に装着可能なものか確かめてください。寸法が異なり装着ができないものがあります。

第 2 章

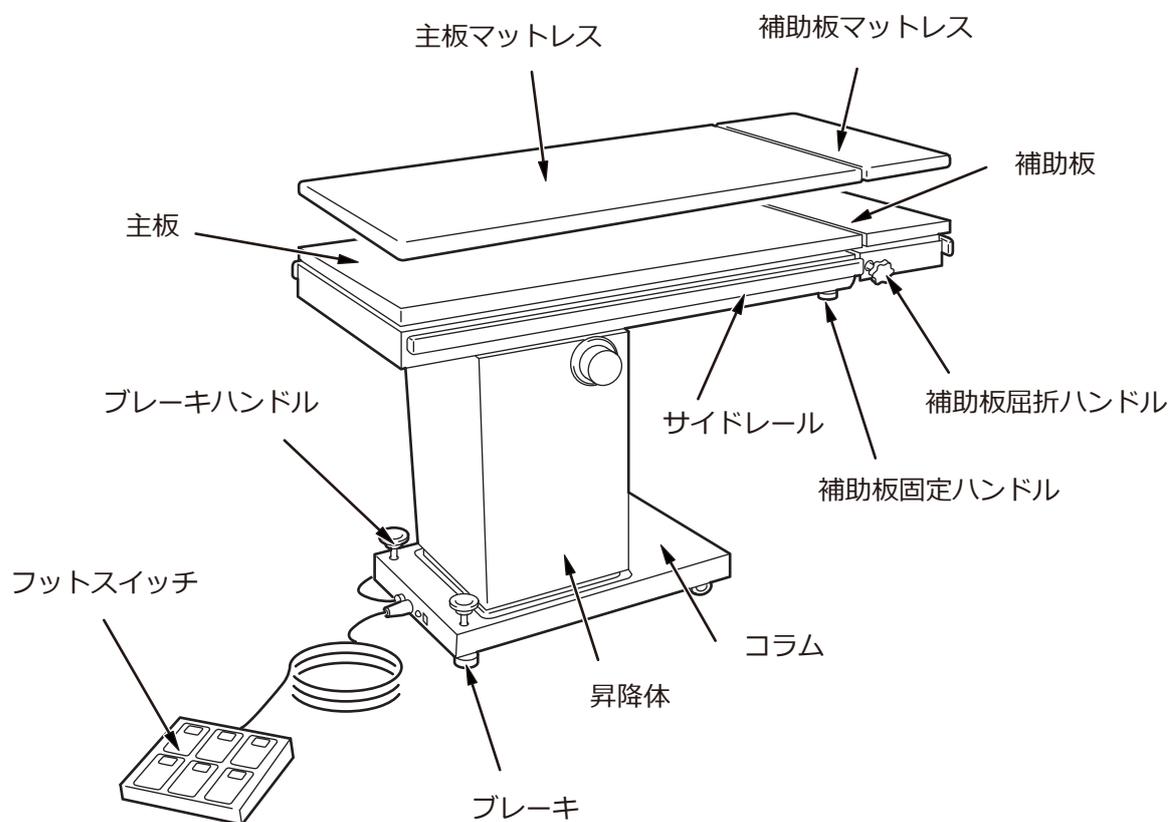
構 成

2-1 各部の名称	6
本体	6
電源スイッチ	6
フットスイッチ	7

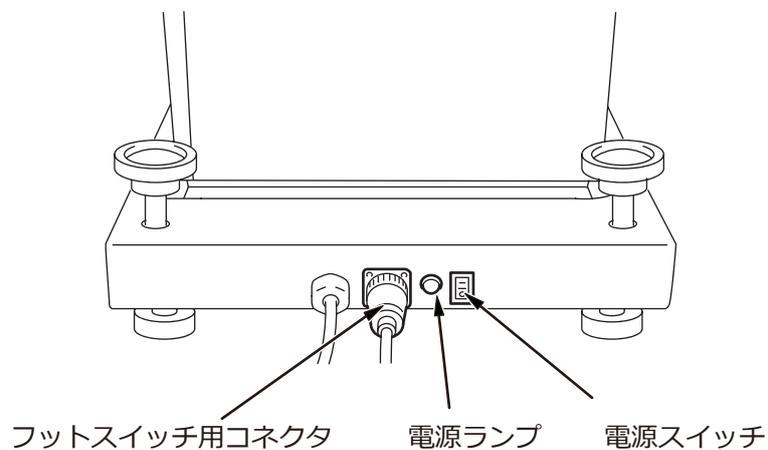
2. 構成

2-1 各部の名称

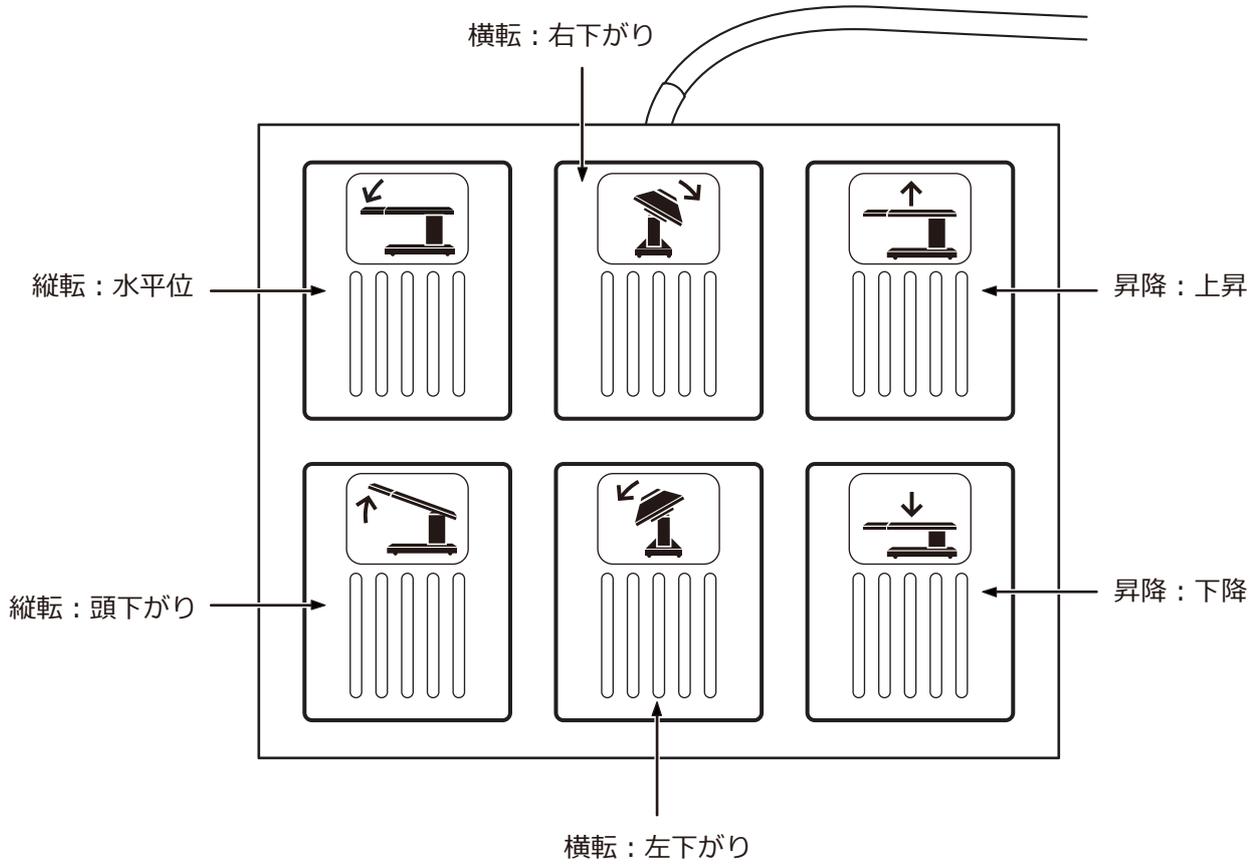
本 体



電源スイッチ

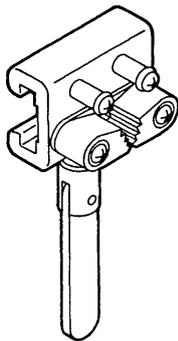


フットスイッチ

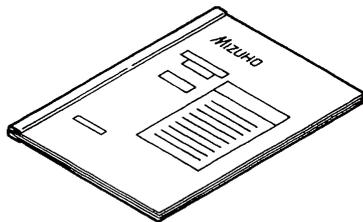


アクセサリ

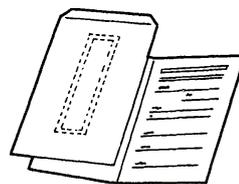
- 保定レール金具 (4台)



- 取扱説明書 (1冊)



- 保証書登録カード (1枚)



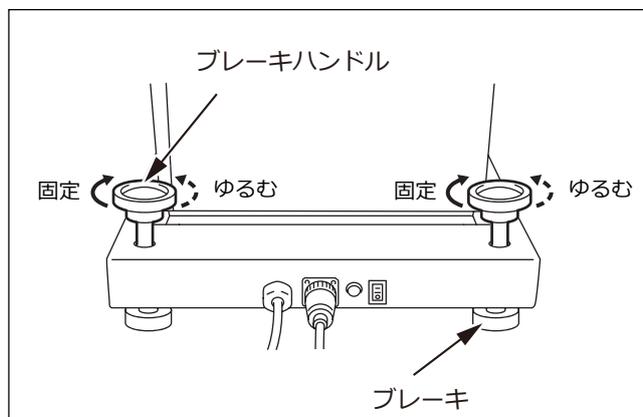
操作方法

3-1 手術台の固定	10
3-2 電源の入れかた／切りかた	11
3-3 フットスイッチによるポジション	12
昇 降	12
縦 転	13
横 転	13
3-4 補助板	15
屈 折	15
取り外し	15
取り付け	15
3-5 保定レール金具	16

3. 操作方法

3-1 手術台の固定

1. ブレーキが床に接地するまでブレーキハンドルを回します。
床に接地したら操作を止めます。

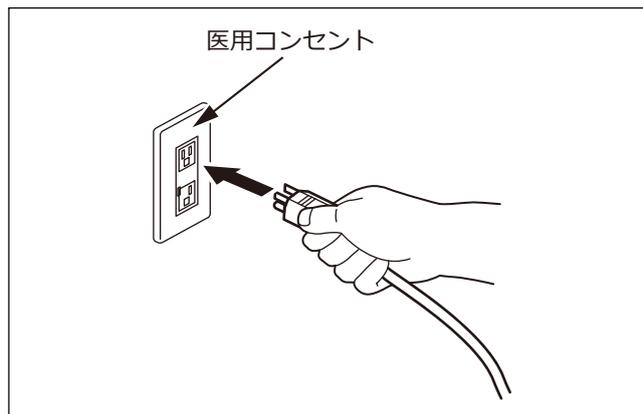


⚠ 注意

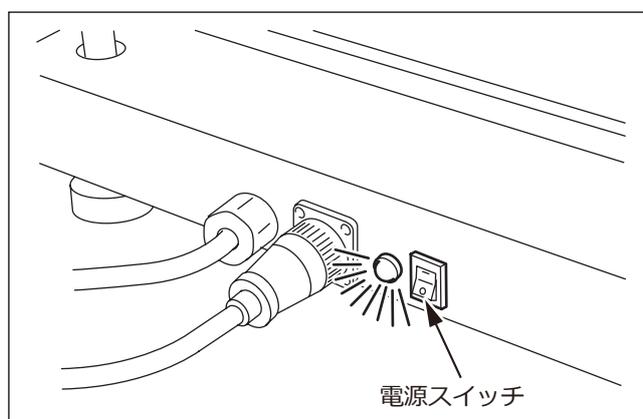
- 使用前に必ず手術台を固定してください。
- ブレーキハンドルの操作は、ブレーキが床に接地したら止めてください。接地後も操作を続けると、コラムが浮き上がり不安定な状態になります。

3-2 電源の入れかた／切りかた

1. 電源コードを医用コンセントに差し込みます。

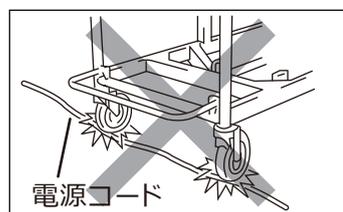
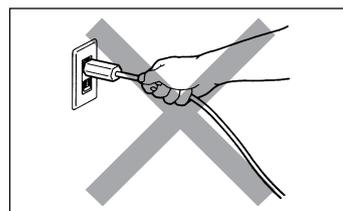


2. 電源スイッチを入れます。
電源ランプ (燈) が点灯します。

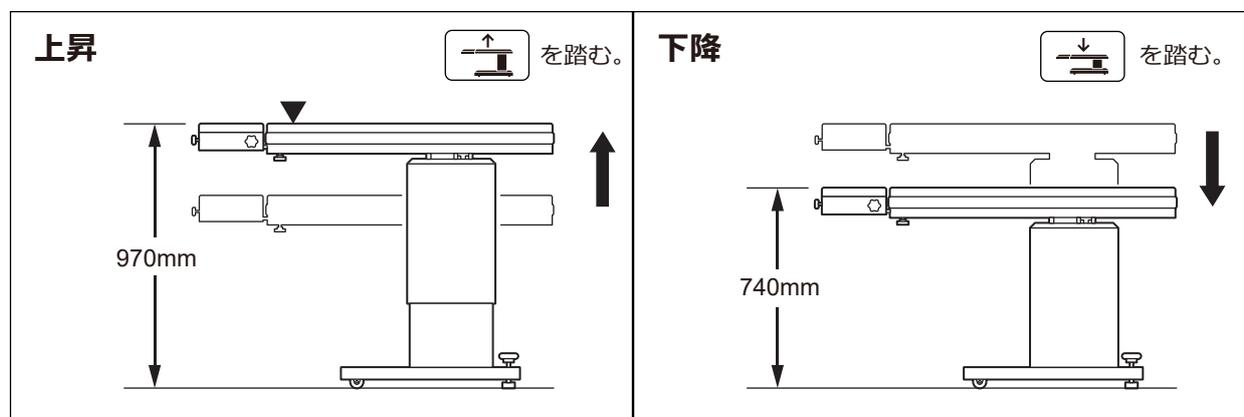


警告

- 電源コードを取り外すとき、コードを無理に引っ張らないでください。無理に引っ張ると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードの上に重量物を置いたり、ストレッチャーなど、キャスターの付いた機器で乗り越えたりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードを医用コンセントから引き抜く位置に、引き抜く作業を妨げる物を置かないでください。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）ご購入店または弊社に交換をご依頼ください。火災・感電の原因になります。



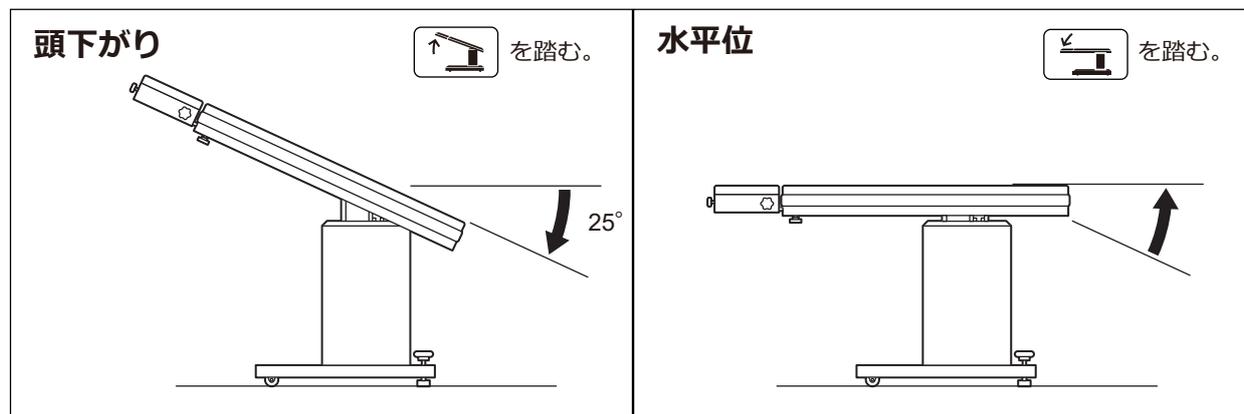
3-3 フットスイッチによるポジション 昇 降



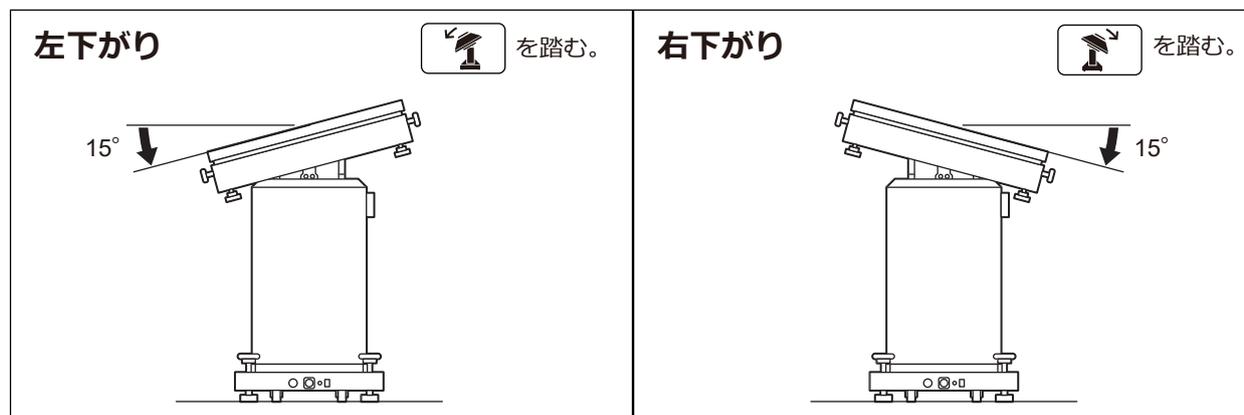
警告

- 主板▼部（上図）に座らないでください。転倒・損傷・怪我のおそれがあります。

縦 転



横 転



横転の左右は主板正面が基準です。

⚠ 警告

- 作動時は必ず支持器、ベルト、ロープ等で患畜を固定してください。患畜が転落するおそれがあります。
- 主板と昇降体の間に手を入れないでください。怪我をするおそれがあります。

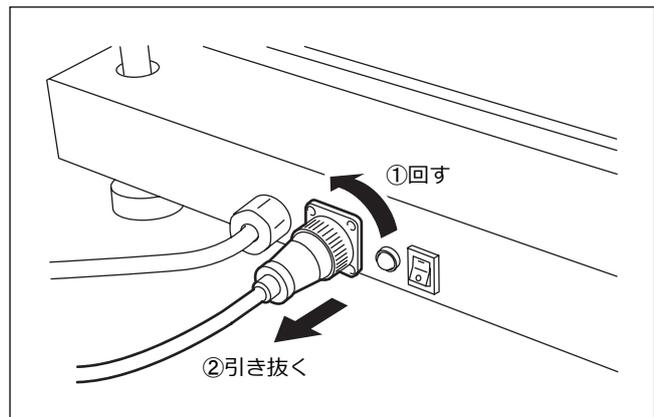
⚠ 注意

- 他社製のアクセサリを使用する場合は、必ず手術台に装着可能なものか確かめてください。寸法が異なり装着ができないものがあります。

補 足

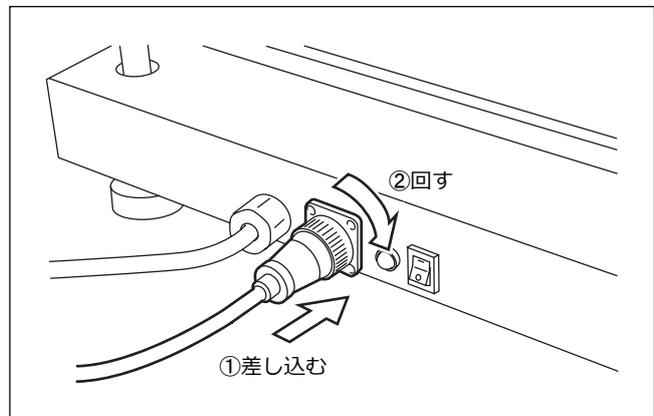
フットスイッチコネクタの取り外しかた

1. コネクタのリングを矢印方向に回して引き抜きます。



フットスイッチコネクタの取り付けかた

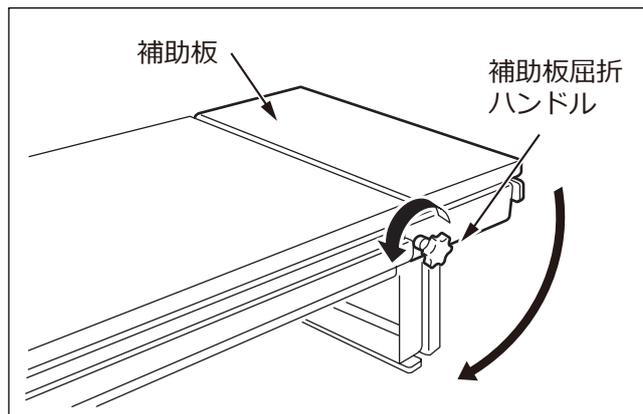
1. コネクタのガイドに合わせて差し込みます。
2. リングを矢印方向に回します。



3-4 補助板

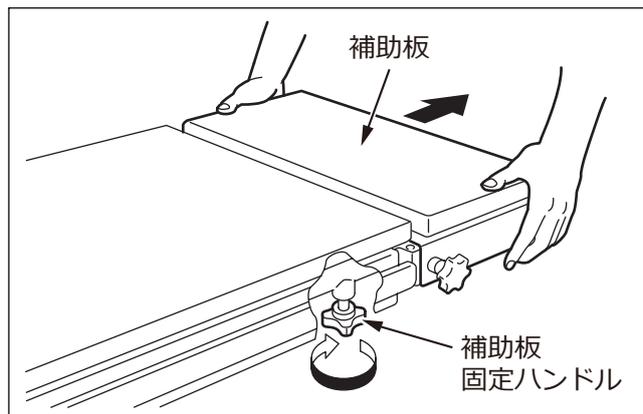
屈折

1. 補助板の先端を持ちます。
2. 補助板屈折ハンドルをゆるめます。
3. 下に最大90度まで屈折します。
4. 設定する位置で補助板屈折ハンドルを締めます。



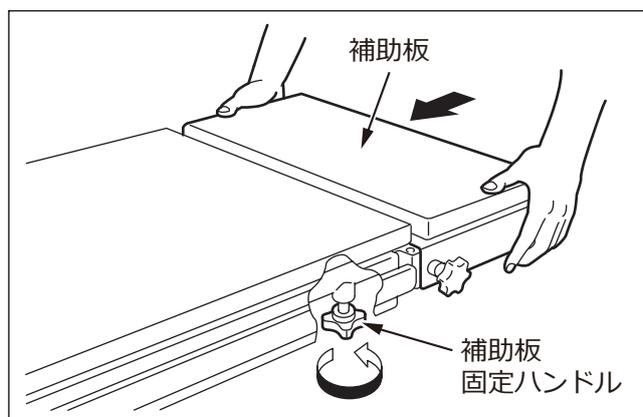
取り外し

1. 左右の補助板固定ハンドルをゆるめます。
2. 補助板の両側を持って手前に引きます。



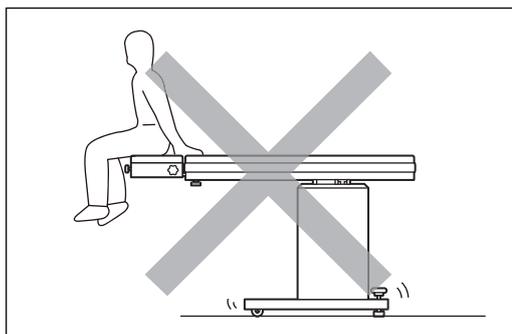
取り付け

1. 補助板の両側を持って補助板の差込軸を主板の差込孔に合わせて挿入します。
2. 左右の補助板固定ハンドルを締めます。



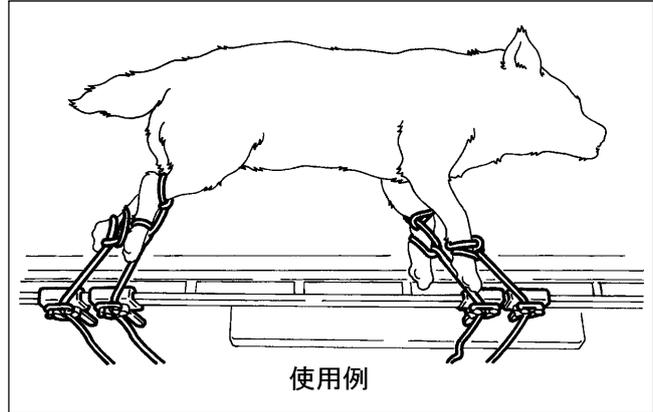
警告

- 補助板屈折の操作は、必ず先端を持ってください。ゆるんだ衝撃で怪我をするおそれがあります。
- 取り外した補助板を取り付けるときは、必ず補助板固定ハンドルを締めてください。ゆるんだ状態で使用すると、補助板が外れて落下するおそれがあります。
- 補助板の上には座らないでください。転倒・損傷・怪我のおそれがあります。

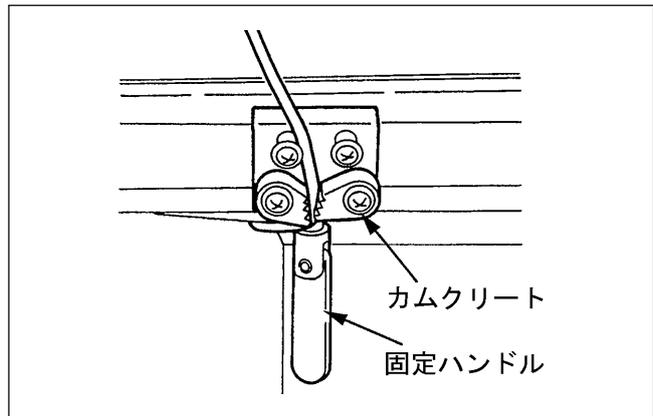


3-5 保定レール金具

1. 保定レール金具をサイドレールに取り付け、固定ハンドルを回して固定します。
2. 手術体位を設定して患畜にロープをつなげます。

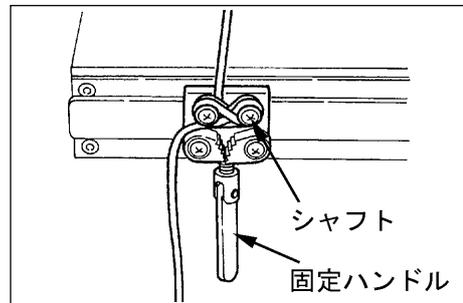


3. 保定レール金具にロープを通して、カムクリートによって固定します。



補 足

- ロープが細い場合は、シャフトに引っかけて固定します。



⚠ 警告

- 必ず固定ハンドルを締めてください。

⚠ 注意

- ロープは別途用意してください。
- 他社製のアクセサリを使用する場合は、必ず装着可能なものか確かめてください。寸法が異なり装着ができないものがあります。

保守と点検

4-1 清浄・消毒	18
4-2 修理を依頼される前に	18
4-3 保証について	19

4. 保守と点検

4-1 清浄・消毒

- 必ず電源を切ってから行ってください。また電源コードは必ず医用コンセントから抜いてください。
- 手術台は消毒液・洗浄水・血液等の侵入を防ぐ構造になっていますが、水や消毒液をかけて洗うことは避けてください。
- 本体やアクセサリの表面は、指定された消毒液（注）を含んだ柔らかい布で清拭してください。固いたわしやみがき粉は表面を傷めますので使用しないでください。

注：弊社指定の消毒液

	薬品名称
a)	次亜塩素酸ナトリウム 0.1%（ハロゲン系薬剤）
b)	ハイポアルコール（ヨード脱色剤）
c)	クロルヘキシジン（グルコン酸クロルヘキシジン 0.5%）
d)	塩化ベンザルコニウム（逆性石けん 10%）
e)	ポビドンヨード
f)	エタノール 80%
g)	オキシドール（過酸化水素水）
h)	生理食塩水（0.9%）
i)	イソプロピルアルコール（IPA）

4-2 修理を依頼される前に

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理をご依頼される前にもう一度お調べください。

電源が入らない	フットスイッチのコネクタは差し込んでいますか？（←14ページ） 電源コードのプラグは差し込んでいますか？（←11ページ）
フットスイッチの機能スイッチを押しても作動しない	フットスイッチのコネクタは差し込んでいますか？（←14ページ）

それでも異常があるときは故障が考えられます。ご購入店または弊社にご連絡ください。
（→19ページ）

4-3 保証について

本製品は下記の保証修理規定に従って修理いたします。

<保証修理規定>

1. 保証期間は納品 / 設置日から 1 年間です。保証期間内に取扱説明書等の注意書に従ったご使用で故障した場合には無償修理をさせていただきます。
2. 修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または弊社営業所にお申しつけください。お申しつけに当たっては以下の内容をご連絡ください。
 - (ア) 型名
 - (イ) 製造番号（製品のラベルをご確認ください）
 - (ウ) 故障の状態
3. 保証期間内でも以下の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (ア) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (イ) お買い上げ後の設置場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ウ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (エ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (オ) 消耗製品が自然劣化し消耗部品を取り替える場合。
 - (カ) 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。
4. 保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
5. 本規定は日本国内においてのみ有効です。

以上

第 5 章

仕 様

5-1 仕様表	22
5-2 外観図	23

5. 仕 様

5-1 仕様表

販売名		電動手術台MUT-300	
製造販売業許可番号		21製販療Ⅱ第100号	
製造販売届出番号		21動薬第4155号	
分 類	類 別	機械器具1 手術台及び治療台	
	一般的名称	中・小動物用手術台及び治療台	
	クラス分類	一般医療機器	
電 動	昇降範囲	最高位	970mm
		最低位	740mm
	縦転角度	頭下がり	25°
	横転角度	左下がり	15°
		右下がり	15°
	操作機器	フットスイッチ	昇降、縦転、横転
手 動	補助板屈折角度	下がり	90°
	取り外し	補助板	
	ブレーキハンドル	固定、解除	
電 気 定 格	JIS T0601-1による分類		クラス I 機器 B型機器
	定格電圧		AC100V
	周波数		50/60Hz
	電源入力		130VA
	操作電圧		DC24V
	連続作動時間		3分 ON、30分 OFF：注4
寸 法	テーブルトップ寸法		1240mm（長）×500mm（幅）：注1
	コラム寸法		650mm（長）×400mm（幅）
質 量		127kg	
許容患者体重		60kg	
使 用 環 境	周囲温度範囲		10°～40°：注2
	相対湿度範囲		30%～75%：注2
	気圧範囲		700hPa～1060hPa：注2
耐用期間		製造出荷後10年：注3	

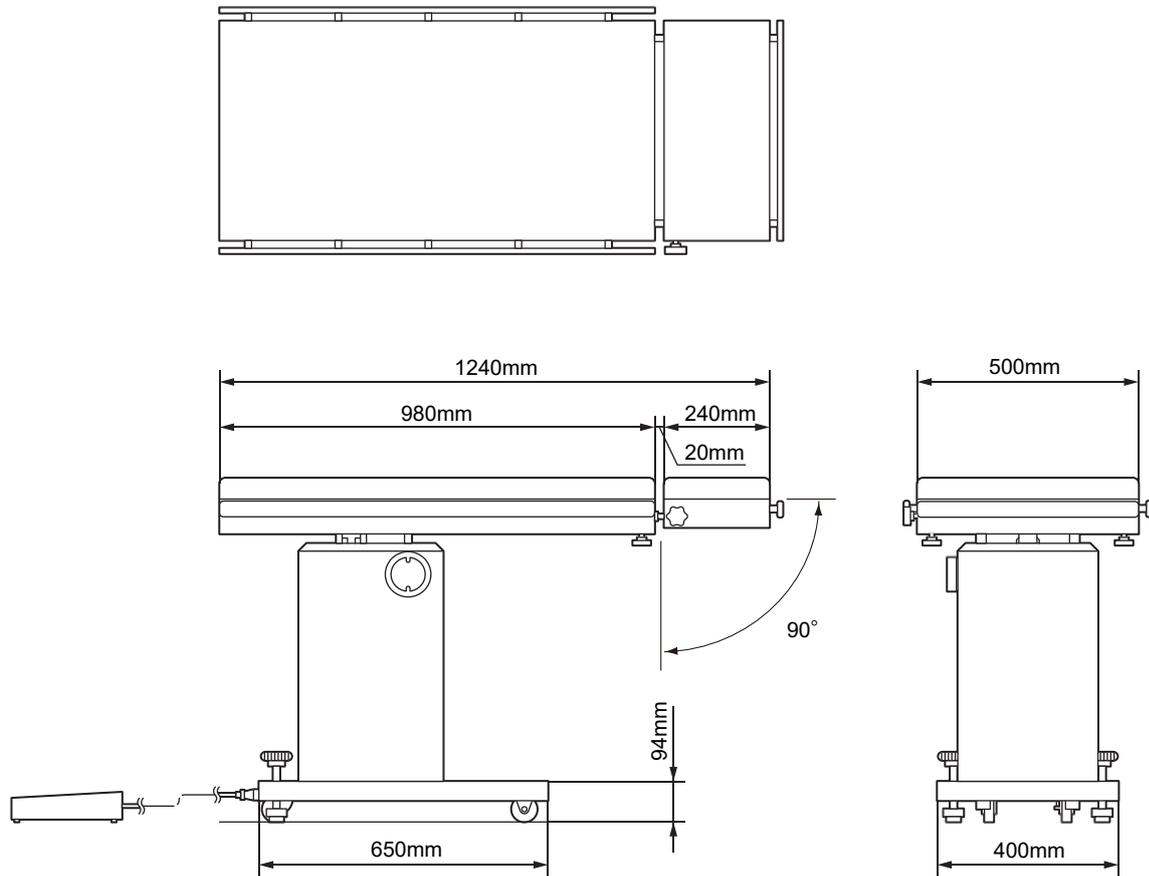
注1：サイドレール部を除く

注2：JIS T0601-1医用電気機器－安全に関する一般的要求事項（環境条件）

注3：自主基準（推奨する保守点検を行った場合）

注4：手術台の連続作動時間と休息时间

5-2 外觀圖



ミズホ株式会社

■ 本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目30番13号

● 小動物課

専用TEL ☎ 0120(88)7554

専用FAX ☎ 0120(78)7554

E-mail: v@mizuho.co.jp

<https://www.mizuho.co.jp>

■ 営業拠点

● 北海道センター

〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目6番地 37山京ビル2F
TEL 011(716)4731 FAX 011(716)4803

● 東北センター

〒980-0014 仙台市青葉区本町1丁目11番2号 SK仙台ビル2F
TEL 022(227)1688 FAX 022(227)1698

● 新潟センター

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通七番町1230番地7 ストークビル京橋6F
TEL 025(229)5458 FAX 025(222)4684

● 北関東センター

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目30番13号
TEL 03(3815)3193 FAX 03(3815)1280

● 東海センター

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目17番4号 スズシン第2ビル3F
TEL 052(732)7130 FAX 052(732)7131

● 関西センター

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目10番24号 三共本町ビル7F
TEL 06(6444)3840 FAX 06(6444)3860

● 中国センター

〒730-0029 広島市中区三川町7番7号 三川町パーキングビル13F
TEL 082(241)8826 FAX 082(241)8836

● 九州センター

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目1番1号 ノーリツビル福岡5F
TEL 092(431)5022 FAX 092(474)4483